

成果報告シンポジウム

栄養学的アプローチから動脈硬化予防を目指す グローバル研究者の育成

日時：平成25年12月20日（金） 13：30～17：00

会場：お茶の水女子大学 生活科学部306室

開会の挨拶 河村 哲也（お茶の水女子大学理事・副学長／国際・研究機構長）

派遣者からの報告① 『高比重リポ蛋白(HDL)は心臓病のリスクマーカーになりうるか？』
谷 真理子（お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター 研究協力員）
Tufts University



派遣者からの報告② 『HDLキネティクス』
王 麗雲（お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター 研究協力員）
Harvard School of Public Health



国内研究者特別講演 『動脈硬化症リスクとしての炎症反応と食品成分』
吉田 雅幸（東京医科歯科大学 先進倫理医科学開発学分野）



派遣者からの報告③ 『食品の成分同定とその機能性について』
神山 真澄（お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター 研究協力員）
University of California, Davis



受入研究者特別講演 『米国に於ける健康食品の研究と市場』
柴本 崇行（University of California, Davis）



まとめと今後の展望 近藤 和雄（お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター長）

主催：お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター
担当研究者：近藤和雄、大塚譲、鈴木恵美子、飯田薫子
吉田雅幸、岸本良美

問合せ先：生活環境教育研究センター 近藤研究室
電話：03-5978-5812、メール：kondo.kazuo@ocha.ac.jp

